

小金井第二中学校 学校運営協議会委員に関する報告書

令和 6 年 5 月 10 日開催 (第 1 回)

	氏名	出席状況	備考
1	ハットリ ケイジロウ 服部 啓次郎	出席	
2	カジノ マサン 梶野 政志	出席	
3	ウラノ トモミ 浦野 知美	出席	
4	オオホリ ユキエ 大堀 由紀江	出席	委員長に選出
5	トミザワ トモヨ 富沢 智代	出席	
6	スズキ ヒロシ 鈴木 寛	出席	
7	ナカムラ タツヤ 中村 達哉		
8	ウチダ ミホ 内田 美帆		
9	クニナガ ヨウコ 邦永 洋子	出席	
10	スズキ リル 鈴木 梨瑠		
11	ミヤジ エリナ 宮地 絵理奈		
12	シミズ ヒロミチ 清水 裕徑	出席	学校長
13	タケウチ マコト 武内 亮	出席	副校長
14			
15			

※ 出席状況は出席した場合は出席、欠席した場合は空白としてください。

(令和6年5月10日)

委員の出席 13名中9名

開催時間 15:30～16:45(予定より15分延長)

### 主な議題

1 校長挨拶および委員紹介(自己紹介にて)

清水新校長着任に伴い挨拶および自己紹介を実施。

今年度地域コーディネーターを川原美紀さんにも委嘱したことを報告・紹介

2 昨年度の成果と課題について

昨年度の行事等を踏まえて報告。2月16日開催の研究発表会の報告 および  
校内別室(そよかぜ)の設置と活用・不登校の生徒数等の状況報告。

3 今年度の学校経営方針について

委員の承認を得ることができた。

4 年間の学校運営協議会および学校行事・公開予定

第二回以降の運営協議会日程について昨年度の提案を変更することとした。

委員の承認を得ることができた。

5 年度当初の研修について

各委員に市教委からの指示を改めてお伝えし、研修報告を求めた。

6 学校評価(当初案)について

大筋で了承をいただいた。評価項目内スタディカフェの参加者増にふれた。

7 各委員の立場から現状報告等

○学校から:生活のきまりの見直し・修正について、Formsを活用した生徒アンケート→学級討議→評議委員会→先ほど実施した生徒総会にて可決。

→子供がルールを変えられることを知ることはとても大切。また、検証するというプロセス(やってみてルールを変えていく)があることもとても良い

○学校から:検定試験について今年度学校での準会場開設を見送った。一方で保護者からは再開してほしいという意見が出ている。今年度については開設しないこととした。来年度以降を見据えた時に「CSの学校地域協働活動で検定を担う」と

いう他校の例がある様子。本校ではどうか。

→CSでの「検定委員会」設立検討委員会を立ち上げる方向はどうか。

※ただしあくまで「検討委員会」である。立ち上げに保護者もかかわるなど実施のための順序がわかれば納得して参加できるのではないだろうか。

→また、「担う側が集まらないため不成立」となる過去の事例がある。

○委員から：校区内の小学校でのPTA活動についての温度差が大きい現状について共有。保護者の意向としてPTAの活動見直しの一方で活動を何でも「CSの「学校地域協働活動」でやってほしい」という意向も聞くことがある。

今後PTA活動や子ども会活動もどのようになっていくのか

→保護者・地域が学校で行われている活動が「自分事化」していない。また、「誰かのために」何かをするという意識が社会的に希薄になっているのでは？

…サービス享受のみが関心の対象となっていることへの危惧が示された

○委員から：スタディカフェの特別版で「模擬選挙」の取組を行いたいと思うがどうか。→都知事選・市議選などの年度でもある。社会に対する関心を高めることは今後の社会を担う力として生徒にも大切なものである。

→検討をすすめていくことを承認。

## 8 質疑応答および事務連絡

特になし。